

【ご参考】 2024年3月期 決算短信 補足資料

1. 当期連結業績の概要

【業績】	
売上高	1,379億円（前期比 16億円減収）
US\$ 9.31円の円安、EUR 16.10円の円安、THB 0.28円の円安により、売上高 19.6億円増加	
営業利益	107億円（前期比 17億円増益） 経常利益 146億円（前期比 22億円増益）
親会社株主に帰属する当期純利益	115億円（前期比 15億円増益）
【連結の範囲】	
連結会社	22社（増減なし） 持分法適用会社 4社（増減なし）
【特別損益】	
特別利益	20.5億円：投資有価証券売却益 19.7億円、固定資産売却益 0.8億円
特別損失	13.1億円：固定資産処分損 5.7億円、退職給付費用 5.1億円、減損損失 1.3億円等
【期末配当金】	
期末配当	130円/株（年間250円/株）（前期年間 205円/株）
株式分割前を基準とした金額を記載しています。	

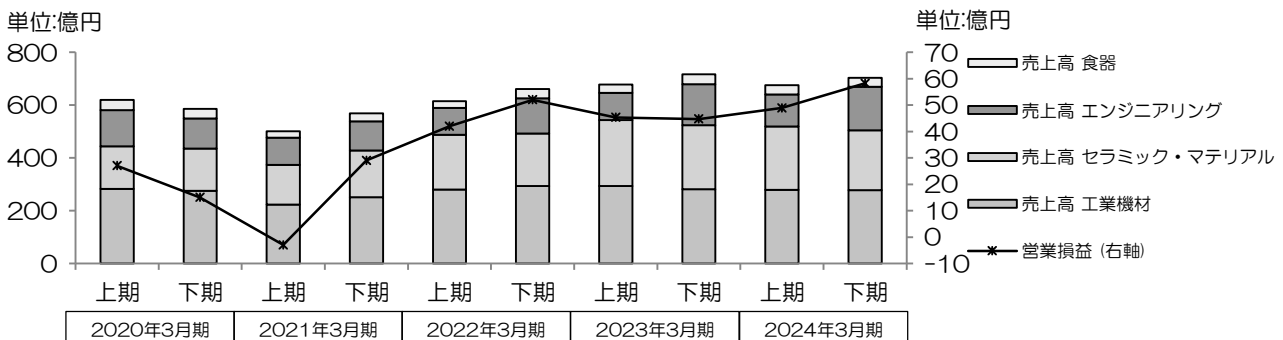
(1) 業績推移

（単位：億円 四捨五入）

		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	対前期比
		3月期	3月期	3月期	3月期	3月期	
		通期実績	通期実績	通期実績	通期実績	通期実績	
売上高	工業機材	558	474	573	575	557	△ 17
	セラミック・マテリアル	322	328	407	492	466	△ 26
	エンジニアリング	251	214	236	259	286	27
	食器	75	54	60	69	70	1
		1,206	1,070	1,276	1,395	1,379	△ 16
営業利益	工業機材	0.9	△ 12.3	30.6	23.5	24.8	1.3
	セラミック・マテリアル	22.2	31.0	54.2	48.4	61.8	13.4
	エンジニアリング	27.8	20.0	20.5	20.5	21.9	1.4
	食器	△ 8.9	△ 13.1	△ 11.8	△ 2.8	△ 1.5	1.3
		42.1	25.6	93.5	89.7	107.1	17.4
(売上高営業利益率)		(3.5%)	(2.4%)	(7.3%)	(6.4%)	(7.8%)	-
経常利益		63.1	44.8	125.1	124.1	146.4	22.4
特別利益		1.3	1.8	1.4	12.5	20.5	8.0
特別損失		14.7	5.7	11.6	10.7	13.1	2.4
親会社株主に帰属する当期純利益		34.2	28.1	90.7	100.2	114.8	14.6
1株当たり当期純利益*		118.61円	97.27円	314.13円	347.28円	396.46円	-
1株当たり純資産*		3,493.16円	3,842.39円	4,091.83円	4,440.95円	5,074.49円	-
US\$ 為替レート		109.2円	106.4円	110.4円	136.0円	145.31円	-

※ 2020年3月期の期首に株式分割が行われたと仮定して算出しています。

半期毎の売上高及び営業損益の推移（2020年3月期-2024年3月期）



(2) 設備投資及び減価償却費

(単位：億円 四捨五入)

	2023年3月期		2024年3月期	
	設備投資	減価償却費	設備投資	減価償却費
工業機材	31	19	26	20
セラミック・マテリアル	18	16	15	16
エンジニアリング	3	2	2	3
食器	3	3	3	3
管理部門	7	7	7	7
合計	61	48	54	48

(3) 有利子負債

(単位：億円 四捨五入)

	2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月	2024年3月	対前期比
有利子負債*	51	79	65	125	26	△ 98
現金及び預金	126	123	142	146	213	67
ネット有利子負債	△ 75	△ 44	△ 77	△ 22	△ 187	△ 166

* 有利子負債には、リース債務は含めておりません。

2. 2025年3月期の計画**(1) 重点施策****【工業機材】**

- ・事業をオーダーメイド品と汎用品に再編し、効率的な事業体制の構築を進めています。
- ・オーダーメイド品事業では、成長領域向け製品の増産体制の確立を進めます。さらに、徹底した収支改善、販売拠点の整備などにより、収益基盤を強化します。また、半導体、自動車の電動化などの成長領域における新技術・新商品の開発を進めます。
- ・汎用品事業では、研磨布紙において、タイ国関連会社の100%子会社化による経営権の取得により、製造・販売体制の再編を行い、収益力を改善・強化します。また、成長領域への進出に向けた製造・開発・営業体制を構築し、経営資源の最適化を図ります。

【セラミック・マテリアル】

- ・電子ペーストは、エレクトロニクス分野において、製品ラインナップの拡張と新商品の開発を進めます。
- ・電子部品材料は、積層セラミックコンデンサ用材料の生産能力の増強を引き続き行うとともに、成長領域における新商品の開発を進めます。また、原材料費や物流費の上昇に応じた適正な価格改定を進め、収益性の向上を図ります。
- ・事業の選択と集中、新商品・新事業の創出により、事業ポートフォリオの再構築を進めます。

【エンジニアリング】

- ・エネルギー、エレクトロニクス分野では、拡販とアフターサービス体制の強化、新商品の投入によりシェアの拡大を図ります。自動車分野では、電動化に伴う新用途・新商品の開発を進めます。
- ・新しい分野（医療・医薬、半導体、新素材）への参入と市場の開拓、環境分野での新用途・新商品の開発を強化します。
- ・当期、超硬丸鋸切断機に係る事業とロードカッターに係る事業を統合。インフラ市場での拡販を図ります。

【食器】

- ・国内は、流通販路の再整備による経費削減を進めており、営業体制を見直してマーケティングを強化するとともに、ホテル・レストラン向け、オンライン及び直営店の販売に注力します。
- ・海外は、成長市場であるインド、中国、東南アジアなど主要国への拡販と米国の収支改善に取り組みます。

【設備投資金額】

設備投資 120億円 減価償却費 50億円

(2) 業績予想

(単位：億円 四捨五入)

	2024年 3月期	2025年3月期 業績予想				
		通期実績	上期予想	下期予想	通期予想	通期増減
売上高	工業機材	557	290	295	585	28
	セラミック・マテリアル	466	225	230	455	△ 11
	エンジニアリング	286	145	155	300	14
	食器	70	35	35	70	0
	合計	1,379	695	715	1,410	31
営業利益	工業機材	24.8	10	13	23	△ 2
	セラミック・マテリアル	61.8	31	34	65	3
	エンジニアリング	21.9	10	12	22	0
	食器	△ 1.5	△ 1	1	0	2
	合計	107.1	50	60	110	3
経常利益	146.4	67	78	145	△ 1	
親会社株主に帰属する当期純利益	114.8	58	62	120	5	

(想定為替レート US\$=145円)